

新しい仲間、 新しい可能性に会いに行こう！

ゆかコーチ

きっかけ：大学でのよしコーチの講演を聞いたのがきっかけです。

私にとってトラックスとは：選手と一緒にたくさん体を動かして、たくさん笑うこと。

ボランティアの声

トラックスには様々な人がボランティアとして参加しています。ボランティアとして参加してくれるコーチたちに「参加のきっかけ」と「自分にとってのトラックス」を聞いてみました。

さとコーチ

きっかけ：大学の時の友達に誘われて。

私にとってトラックスとは？：今日は誰がいるかなあーと楽しみにくるところ。

たべコーチ

きっかけ：教員免許を取る過程で特別支援学校へ行くプログラムがあって、そこで初めて障害のある子供たちと関わりました。もっと学びたいと思い、障害のある子供たちに関わるボランティアがしたいと思いトラックスに参加しました！

私にとってトラックスとは？：充電する場所！無条件に受け入れてくれる選手たち、主体性や「らしさ」を大切にしている大人たちに刺激をもらっています。

じゅんコーチ

きっかけ：運動制限がある自分でも、役に立てるボランティアを探していた時に発見！

あなたにとってトラックスとは？トラックスを通して、社会に参加してる感じです。

れおコーチ

きっかけ：すでにトラックスでボランティアでコーチとして参加している友人に教えてもらいました。

私にとってトラックスとは？：平日の事務仕事とは全く違う活動をしていることで、張り合いを感じています。いつも楽しく参加しています。

コーチとしてボランティアに参加してみよう！

平日 18:00-20:00、土曜午前または午後トラックス・サッカースクールは開催されます。気軽に参加してね。スクール生もコーチも新しい仲間に出会えるのを楽しみにしています！

場所：白鷺特別支援学校・江東特別支援学校・鹿本学園・豎川河川敷公園フットサル場・墨田特別支援学校
(曜日によって異なります)

日時：月曜～木曜日 18:00-20:00 | 土曜日 午前または午後(月によって異なります)

必要なもの：室内用サッカーシューズ(コーチ用ジャージはトラックスが用意しています)・飲み物

ボランティア申込みのながれ

1. トラックスのホームページ「スクール&クラブ」で各スクールの場所や時間を見て、参加できそうなスクールをチェック。

2. 「ボランティア募集ページ」にある申込みフォームかメールで申し込む。トラックスからメールが届きます。

3. トラックスとメールで、場所や曜日を定める。あとは当日スクールへ！分からないことがあったら気軽に聞いてね。

ボランティアに関するお問い合わせはフォームまたはメールで！



contact@tracos.jp

What is it like to volunteer with TRACOS?

トラッソスでボランティアするって、どんなだろう？

「気軽に参加を！」って言われても、その気軽が難しいこともあるよね。
どんなのかは参加したら分かるだろうけど、分からないから参加しづらい...
だから、高校生の時にトラッソスにボランティアとして参加してくれた「はるコーチ」に、
トラッソスでボランティアするってどんなだったか質問に答えてもらいました。

1. 高校生の時、ボランティアをしてみようと思ったのは？

周りの友達が大学受験で時間がない中、自分は内部受験で時間に余裕があって、それなら、その余裕ある時間を何かに使えないかと考えたんです。これまで短期ボランティアに参加したことや、バイト禁止の学校&ボランティアなら家族も許すというのがあったのでボランティアをしようと思いました。

2. トラッソスでボランティアをしてみようと思ったのは？

将来、子どもとかかわる仕事につきたいと思っていたので、初めは好きなことを活かしたいと思い『子供・運動・ボランティア』で検索してみました。色々なボランティアが検索結果に出てきた中で、『サッカー』という文字がありました。サッカーなら経験があるし、今までやっていた短期の保育ボランティアでは学べなかったことを経験ができるのではないかと思います。それに、それまで「障害児」についてはあまり知らなかったので、「知らない」を「知る」チャンスだと思ったのが、トラッソスでボランティアをしようと思った理由です。

自分の人生の中で出会うことの
少なかった年上のボランティアの人達と
会話をすることも新鮮だった。

3. 当時、実際にボランティアしてみて、楽しいと感じたことや達成感を感じたことは？

子どもたちから、「はるコーチ」と名前を呼ばれ声をかけられるようになった時、一緒に遊びながら意思疎通ができた時に楽しさ・嬉しさを感じました。達成感を感じたのは、なかなか振り向いてもらえない、受けこたえができなかった子と自分なりに声をかけたり、ボールを目の前で動かしてみたりとアクションを起こした時に反応がかえってき



はるコーチは、社会人になった今もボランティアとしてトラッソスに参加しています。

た時でした。特に、気まぐれではなく、子どもが自発的に『繰り返し』できたときは嬉しかったです。また、自分の人生の中で出会うことの少なかった年上のボランティアの人たちと会話をすることが新鮮で楽しかったですね。

4. 当時、大変だったことはありましたか？または辛かったことはありましたか？あった場合、どのようなことでしたか？

はじめて対面する『障害児』との関わり方が、今まで接した子供のようにはかずに分からないことが多くて大変でした。図書館やネットで調べるにしても、誰がどの症状なのか障害名に知識がなく理解することが難しかったです。辛いと感じたのは、子どもとの関わりで初めてのことばかりで、何が分からないか分からずにいた時です。他のコーチ達にも聞けず、具体的な行動も分からないまま子ども達と一緒にいる意味があるのか、役に立っているのか不安で仕方なかったです。またその時期は、話しやすい相手もいなくてどう話を切り出しているのか分からず、悶々としたまま通っていました。

5. トラッソスでボランティアをした事が、仕事や私生活の何かに役立っていますか？

とても役に立っています。ボランティアをしてトラッ子（トラッソスの子ども達のニックネーム）と出会っていなければ、人を見る『見方』に『偏見』が多く生まれていたかもしれません。そう意味では自分を変えてくれました。障害がある人を見ても『一人の人間』として見ることができています。

今、保育士として働いていますが、子どもの見方にゆとりを持てるのもトラッソスの影響が大きいです。『こうでなければならぬ』という見方ではなく、「そういう時もあるよね」とか「なにが楽しいかな」、「これが好きなんだ」など視野や時間、見とりに広がりをもった保育を実現できていると思います。他の保育者にも、私の見方が伝わりつつあるときは嬉しいです。

ボランティアには、
目に見えない形の実感がたくさんあるよ。

6. 現在、高校生や大学生に「ボランティアのススメ」をしたら、どんな声をかけますか？

バイトは、目に見える形で実感がある。ボランティアは、目に見えない形での実感がたくさんあるよ。自分次第で自由に決められる時間が学生時代にはあって、選択肢もたくさんある。今のうちに好きなように「社会」を学ぶのも一つだよ！

